

2010年11月4日



# 第13期(2011年3月期) 第2四半期決算のご説明

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社  
(大証JASDAQスタンダード, 証券コード8462)

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2010年9月末現在のものです。

1.	本資料における記載数値について	…	3
2.	経営環境	…	4
3.	第13期第2四半期決算概要	…	6
4.	投資活動の状況	…	10

## 【参考】 会社概要

# 1.本資料における記載数値について

当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に子会社及び投資事業組合の**当社持分のみを連結した財務数値を記載**しております。

## 【連結の対象となる子会社及び投資事業組合】

連結子会社 : 100%出資子会社1社 投資事業組合26組合  
出資金総額 : 30,206百万円  
(うち、外部出資者の持分 25,782百万円)

## 【投資事業組合を連結した場合の影響】

投資事業組合を連結することにより、外部出資者の組合持分が、当社の連結損益計算書、連結貸借対照表に含まれます。

### 連結貸借対照表

- ・自己資本比率が低下します。外部出資者の組合持分が、当社の「総資産」に含まれるためです。

### 連結損益計算書

- ・外部出資者の組合持分が売上や売上原価に含まれるため、損益にも外部出資者の組合持分が含まれます。  
外部出資者の組合持分である損益は、最終的に「少数株主利益」又は「少数株主損失」として控除されます。
- ・投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ、相殺消去されます。

表示単位未満の数値処理の影響により、合計額が一致しない等のずれが一部に生じております。

## 2.1.株式市場の状況

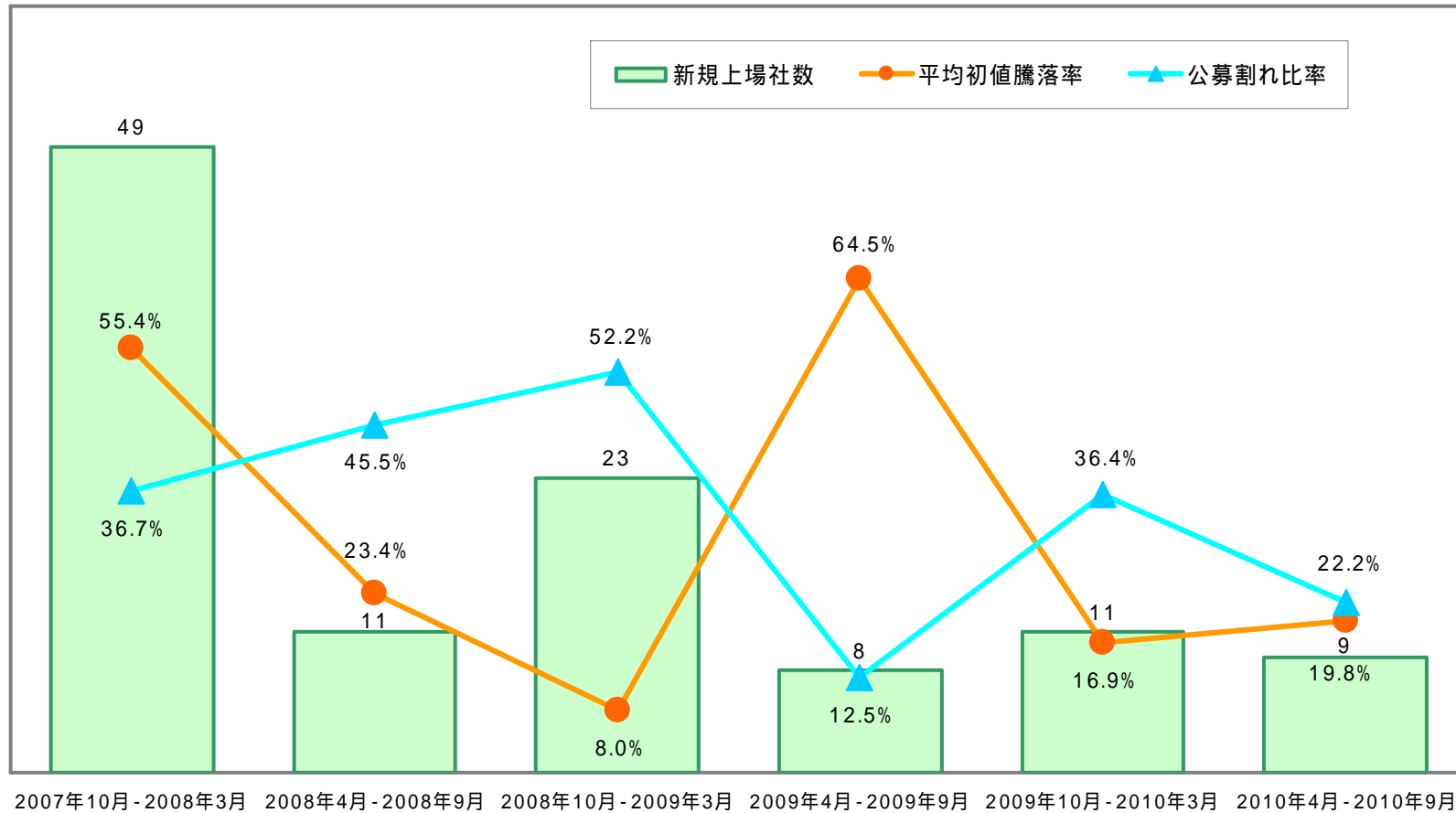
当期の株価は回復基調で推移しているものの、新興市場の低迷はまだまだ続く



## 2.2.新規上場市場の状況

初値騰落率、新規上場社数とも以前低水準で推移

投資先企業の上場による収益確保は依然困難



初値騰落率

:  $\{ ( \text{初値} - \text{公募価格} ) / \text{公募価格} \} \times 100 ( \% )$

公募割れ比率

: 新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率

### 3.1.第13期第2四半期決算(2010年9月)

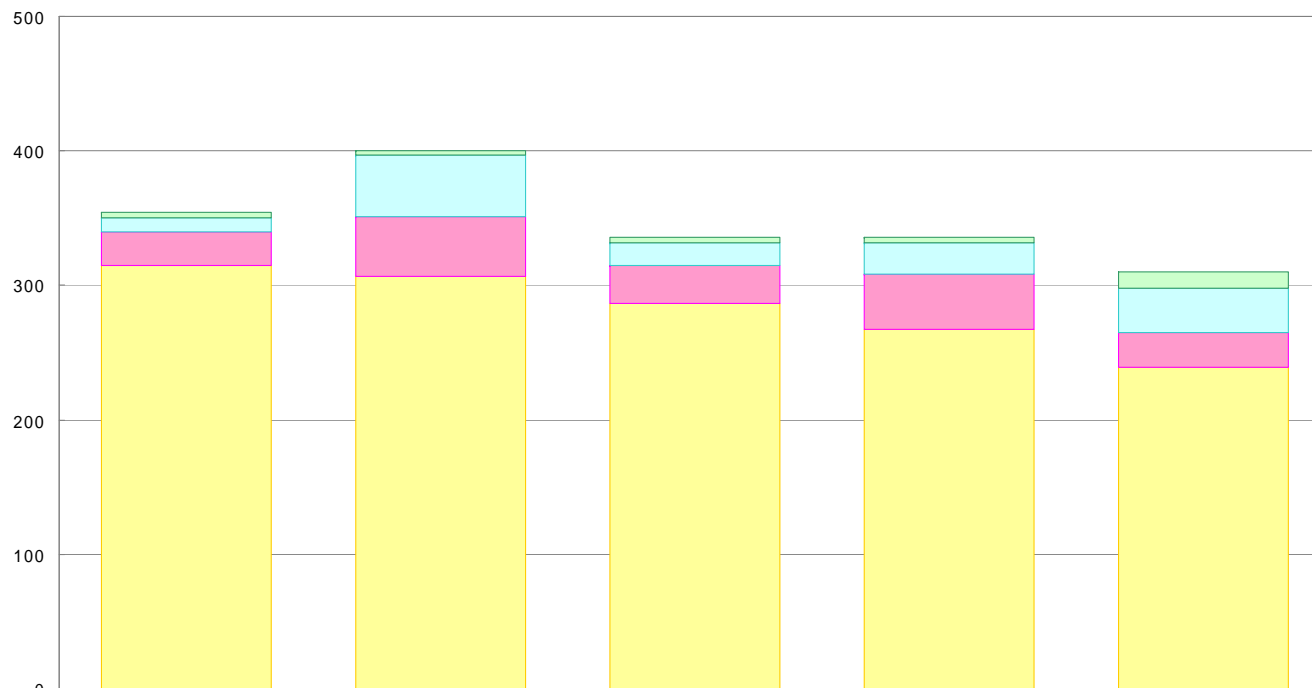
経費削減を推し進め、前年同期比では損益が改善したものの、投資損益が改善せず引き続き赤字計上となった

	第12期第2四半期	第13期第2四半期	第12期通期
単位:百万円	2009/4-2009/9	2010/4-2010/9	2009/4-2010/3
売上高	337	311	674
営業損失( )	131	113	517
経常損失( )	152	131	577
当期純損失( )	162	149	599
純資産	708	275	408
総資産	2,260	1,619	1,903
自己資本比率	31.3%	16.4%	21.1%

## 3.2.売上高の内訳・経年比較

投資事業組合管理業務による売上高の減少が響き、前年同期及び前期比とも減収となった

(単位:百万円)



単位:百万円

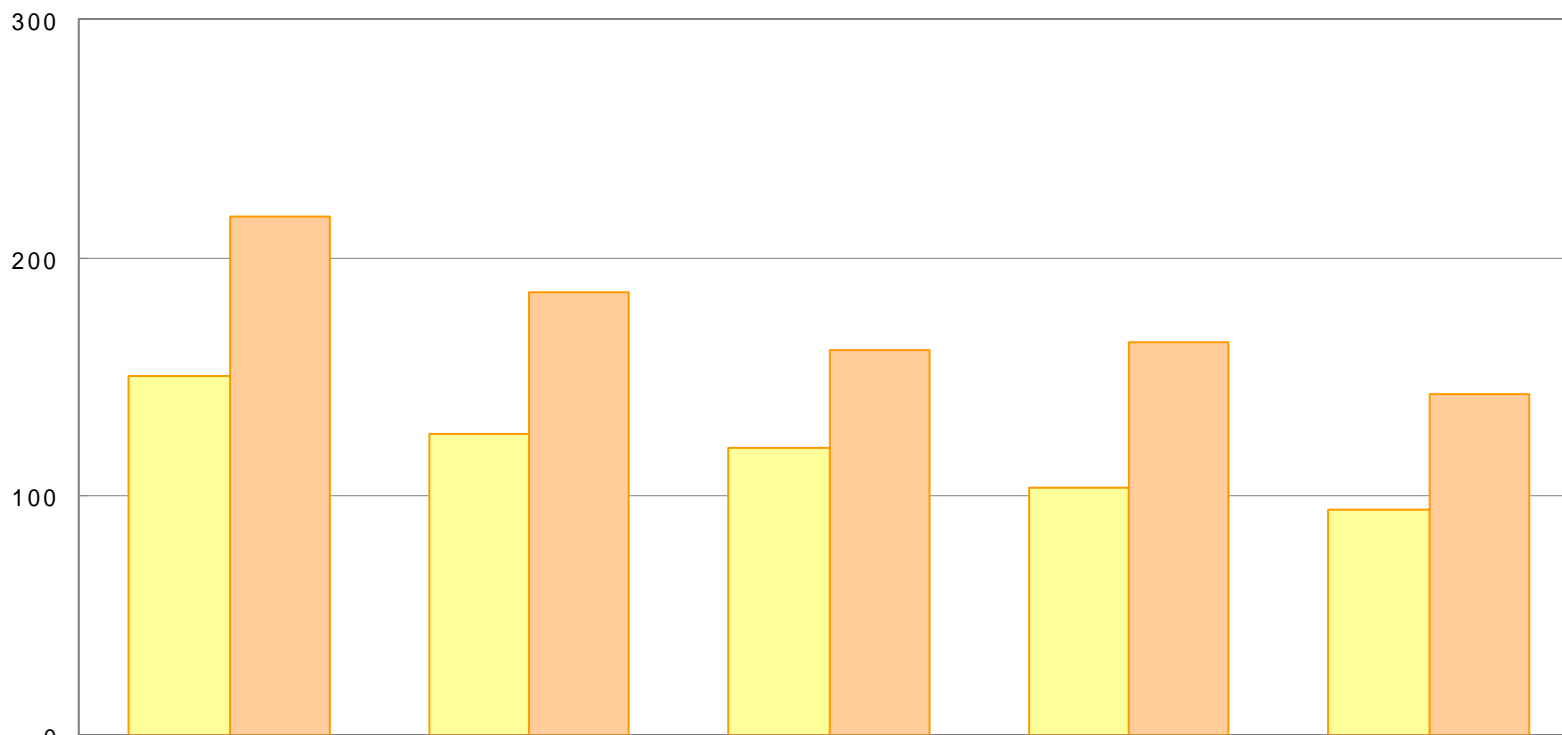
第11期1-2Q 2008/4-2008/9 第11期3-4Q 2008/10-2009/3 第12期1-2Q 2009/4-2009/9 第12期3-4Q 2009/10-2010/3 第13期1-2Q 2010/4-2010/9 第13期1-2Q構成比

投資事業組合管理業務	315	306	287	267	239	77.1%
コンサルティング業務	25	44	28	40	26	10.6%
営業投資有価証券売上高	10	45	17	24	33	8.4%
その他	4	2	4	4	12	3.9%
計	356	399	337	337	311	100.0%

### 3.3. 経費削減の状況

#### 厳しい経営環境に応じて経費削減を推進

(単位:百万円)



単位:千円

	第11期1-2Q 2008/4-2008/9	第11期3-4Q 2008/10-2009/3	第12期1-2Q 2009/4-2009/9	第12期3-4Q 2009/10-2010/3	第13期1-2Q 2010/4-2010/9
販売費及び一般管理費	150,699	126,280	120,242	103,661	94,243
その他の原価	217,614	185,167	162,060	164,658	143,055

その他の原価 : 売上原価として計上する営業部門における活動経費



### 3.4. 営業投資有価証券にかかる損益の詳細(第13期第2四半期)

売却では利益を確保したものの、投資損失引当金の新規繰入額が高水準となり、投資損益が赤字となった

(単位:千円)

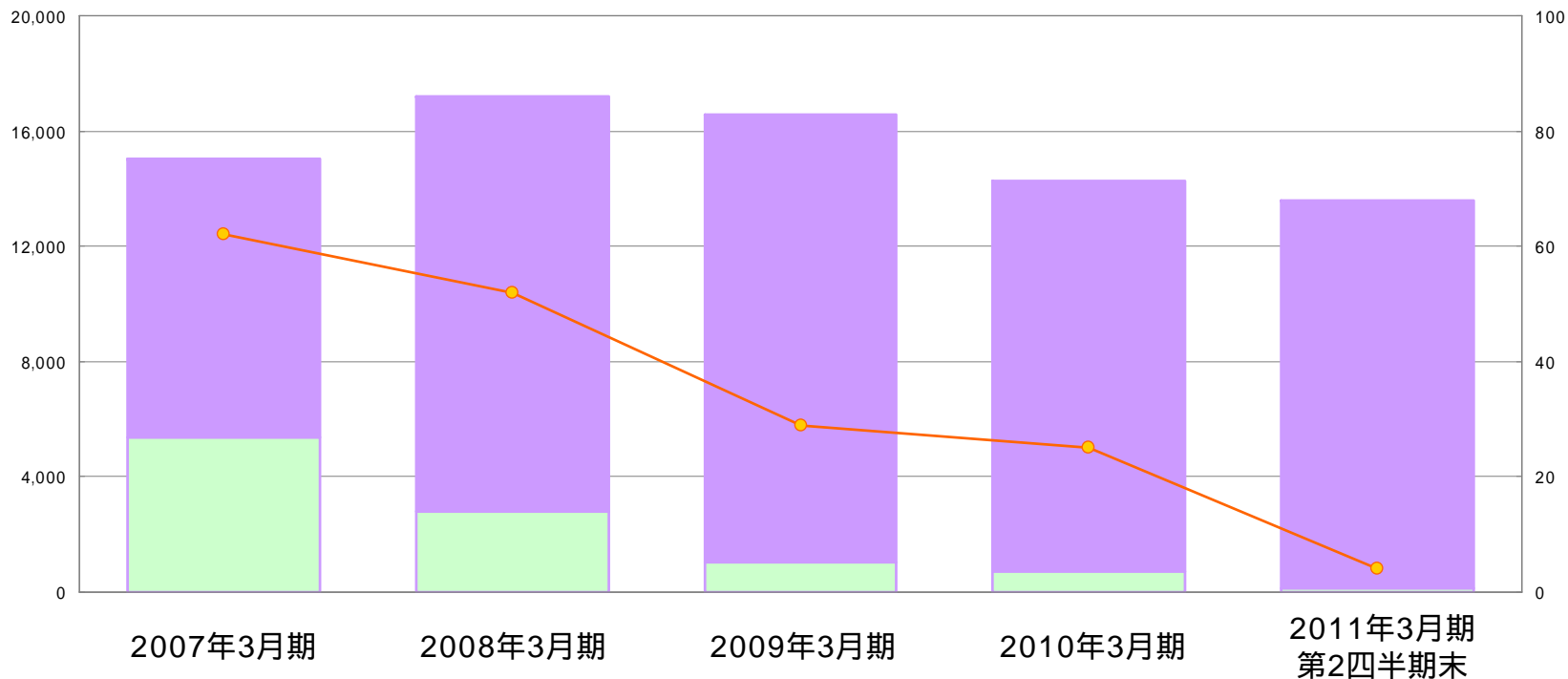
	上場 有価証券	未上場 有価証券	減損	投資損失引当金 新規繰入	合計
営業投資有価証券 売却高 <sup>1</sup>	1,749	31,083			32,832
売却原価	763	133,452	8,733		142,948
売買損益 ( - )	985	102,368	8,733		110,116
投資損失引当金 繰入額(戻入額)		112,747	4,385	116,046	1,087
会計上損益 ( - )	985	10,379	4,348	116,046	109,030

1 損益計算書上の「営業投資有価証券売上高」には、投資先企業株式・債券からの配当・利子を含むため、本表の数値とは異なります。

## 4.1.投資金額・社数の推移

運用環境の悪化を受けて新規投資額が減少、2008年3月期をピークに投資残高は減少傾向

(単位:百万円)



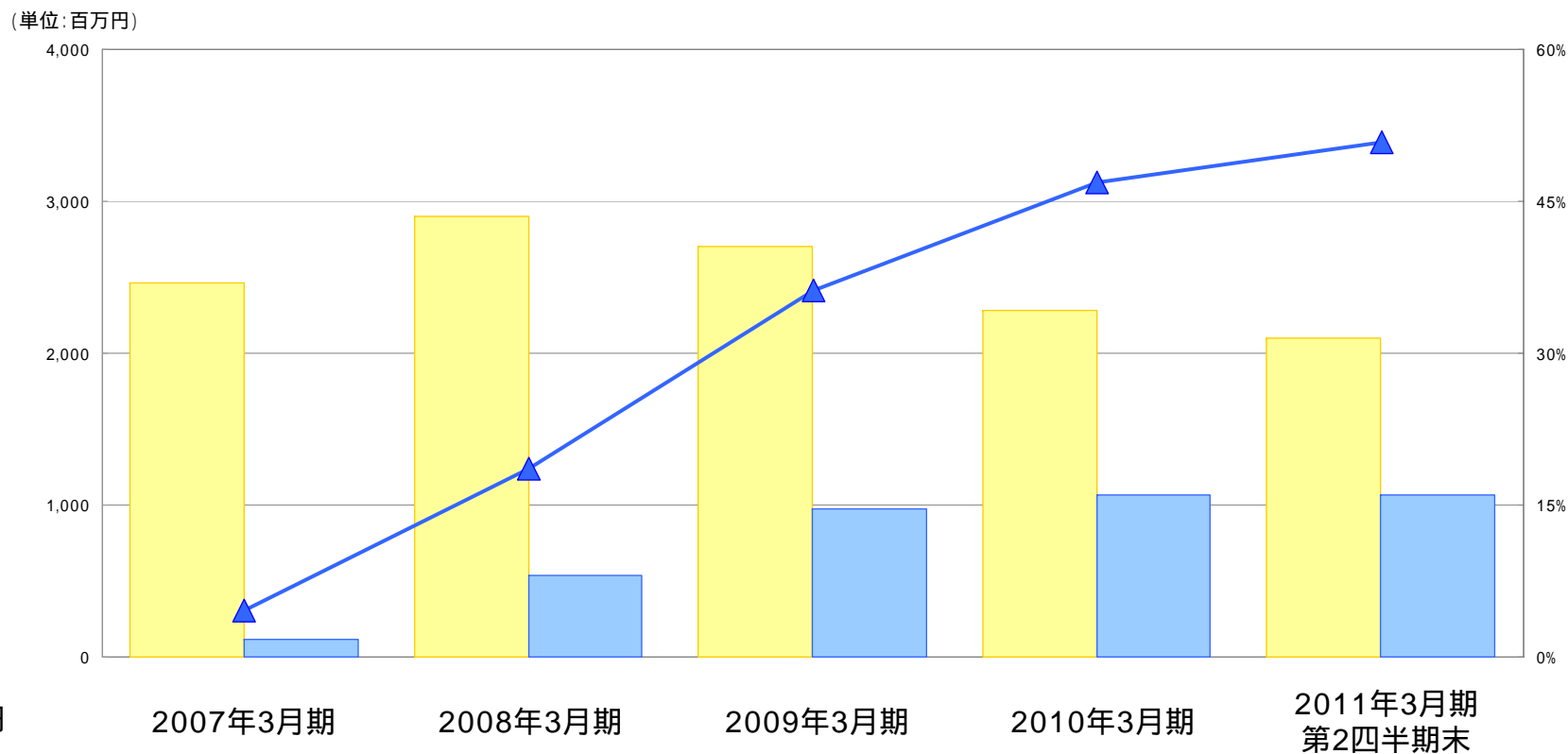
投資残高	15,045	17,186	16,591	14,354	13,594
うち、当期投資額	5,355	2,814	1,032	741	131
当期投資社数[右軸]	62社	52社	29社	25社	4社

1社当たり投資金額	86.3	54.1	35.6	29.6	32.8
-----------	------	------	------	------	------

1社当たり投資金額 = 当期投資額 ÷ 当期投資社数

## 4.2. 営業投資有価証券と投資損失引当金の推移

営業投資有価証券売却の進捗により投資損失引当金残高は減少したものの、引当率は上昇



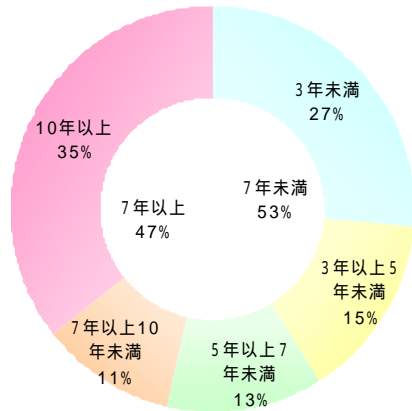
■ 営業投資有価証券	2,463	2,900	2,700	2,282	2,099
引当金繰入額 (戻入額)	100	384	449	91	1
■ 引当金残高	112	540	977	1,069	1,068
▲ 営業投資有価証券 に対する引当率	4.6%	18.6%	36.2%	46.8%	50.9%

# 4.3.投資残高ポートフォリオ (2010年9月末現在)

投資残高金額 13,594百万円      投資残高社数 180社

(金額ベース)

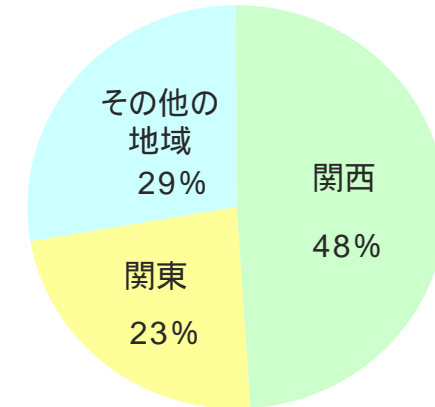
設立年別分類



追加投資においても初回投資時点の設立経過年数で計算しております。

(金額ベース)

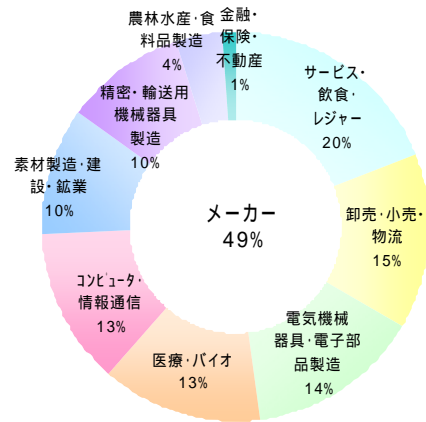
地域別分類



関西・・・大阪(21%)、京都(13%)、兵庫(8%)、その他(6%)  
 関東・・・東京(18%)、その他(5%)  
 その他の地域・・・東北(12%)、北陸(7%)、その他(10%)

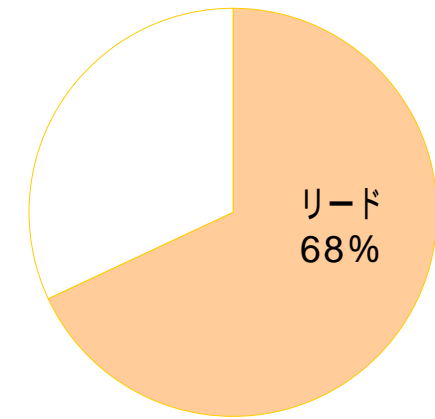
(金額ベース)

業種別分類



(社数ベース)

リードインベスターとして投資している案件



初回投資時点を基準に計算しております。  
 28社に非常勤役員を派遣しています。

## 【参考】 会社概要 (2010年9月末現在)



- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 (FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 1,984百万円
- 発行済株式総数 : 46,869株
- 株式公開市場 : 大阪証券取引所 JASDAQ市場 (8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地  
烏丸中央ビル8階
- 従業員数 : 37名
- 事業内容 : 未公開企業投資業務、投資事業組合の企画・運営  
コンサルティング業務など